

科目区分	専門科目・がん治療学系		
授業科目名	患者の個人的な特性に基づくがん治療学－レアキャンサー、小児がん、高齢者のがん、治療からケアまで－		
担当者名	責任者 柴田 浩行	分担者	授業計画の担当教員を参照
単位数	1単位(選択)	配当年次	1, 2年次
授業形態	Web Class	実施場所	—
開講期間	2025年4月下旬頃から2026年3月まで		
開講曜日・時間	Web Classでのオンデマンド講義ですので、随時受講してください。		
授業の概要・到達目標			
<p>がんゲノム解析, そしてPrecision Medicineへの流れは, これまで症例数が稀でエビデンスが得られにくかったレアキャンサーの領域にも革新的な治療方針をもたらすことになる。従来は癌腫ごとの治療体系が基本であったが, 個々の癌腫の持つ分子標的を解析するというPrecision Medicineを用いれば, 分子標的をベースとした, より理論的な治療方針の提案につながる。この流れは個別化医療への流れにもつながり, 高齢者などの殺細胞性抗がん剤の有害事象が危惧される対象へ, より優しい治療に結びつく。さらにリハビリテーションや在宅医療, 支持療法, そしてこれらを支えるチーム医療のメンバーの役割など, より実践的な内容を理解することで, 未来のがんプロフェッショナルには必要な知識を身に付けることを目標とする。</p>			
授業計画			
	授業の概要及び到達目標 (授業内容)	担当教員名	講座名
1	がんリハビリテーションの重要性	安部 能成	(千葉県立保健医療大学)
2	小児がん患者を支えるということ	矢野 道広	小児科
3	がん専門薬剤師になるには	佐藤 淳也	(静岡がんセンター)
4	希少がん, 肉腫(悪性骨軟部腫瘍)の治療	小林 英介	(国立がん研究センター)
5	地域における緩和ケアの普及を目指して	木村 祐輔	(岩手医科大)
6	高齢者のがん医療	長島 文夫	(杏林大学医学部附属病院)
7	腎癌	沼倉 一幸	腎泌尿器科学
8	遺伝性婦人科癌とその個別管理	佐藤 直樹	
9	在宅での緩和ケア	市原 利晃	(医療法人社団 隆仁会)
10	GIST治療の現況	柴田 浩行	臨床腫瘍学
11	原発不明がん	柴田 浩行	臨床腫瘍学
12	転移性骨腫瘍の外科的治療(骨転移の外科的治療)	永澤 博幸	整形外科
13	リンパ系腫瘍におけるHDAC阻害剤の治療標的分子	田川 博之	(港北中通診療所)
14	慢性骨髄性白血病	高橋 直人	血液・腎臓・膠原病内科学
15	がん看護専門看護師の役割	今野 麻衣子	看護部
16	がん患者の栄養管理[支持療法]	安藤 秀明	臨床看護学
17	オンコロジックエマーゼンシー	柴田 浩行	臨床腫瘍学
18	小児がんの外科	吉野 裕顕	
19	悪性黒色腫の免疫療法	長田 真一	
20	がん免疫療法によって何が変わるのか	柴田 浩行	臨床腫瘍学
成績評価の基準と方法			
成績の評価は, 提出したレポートの内容を考慮して行う。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
柴田 浩行, hiroyuki@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報: Web Classにより, 講義を各自視聴してください。視聴期間: 4月下旬頃～3月まで この科目の単位数は1単位のため, 20コマある講義から任意の8コマを選択して視聴してください。 ※講義動画の更新を予定しており, 年度途中でも講義内容が変更となる可能性があります。			
教科書・参考文献: 特になし			
自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			